

## 1年を振り返って

2012年度は「観見奉仕」のスローガンのもと、総合的かつ集中的に物事を捉え、常に奉仕の心を持ち、明るい豊かな社会の実現に向けて青年会議所運動に取り組みました。

1年を振り返ってみると、今年は理事長としてLOMの内外において、様々な経験を積ませていただき、またその中で多くの方々とお会いし、学ばせていただくことができました。そしてそれと同時に、常に理事長という役職の重みを感じる年でもありました。

事業では、第41回少年はだか祭りが雪の舞う厳しい寒さの中での開催となりましたが、子ども達の祭りに対する意気込みと、争奪戦での力強さを間近に感じ、地域の大切な伝統行事となっていることを誇りに思いました。

また夏には、地域活性化の一環として瀬戸内市の牛窓において、サマーキャンプを開催しました。子ども達が牛窓の歴史について真剣に勉強し、楽しくプログラムに取り組むことにより、牛窓の素晴らしさをあらためて感じてもらえたことと思います。

他にも多くの事業を開催しましたが、年初に掲げた目的に沿って一つ一つの事業を開催できたのは、メンバーの強い結束力と、地域を何とかしたいという熱い想いがあったからこそだと思います。

あらためて支えていただいたメンバー全員に、心から感謝を申し上げます。

また、本年度西大寺青年会議所は、平成20年12月1日に施行された公益法人制度改革法に伴い、社団法人から一般社団法人へと法人移行いたしました。ここに至るまでの道のりは長く、様々な方々にお力をいただき、また代々担当として取り組んできたメンバーの力により、移行を完了することができました。関係者の皆様には、深く感謝を申し上げます。

青年会議所運動は単年度制であるため、2012年度の体制は終わりを迎えます。しかし、今までがそうであったように、次の代にまた次の代にと青年会議所運動は繋がっていきます。その52代目を務めさせていただき、そして2013年度に無事繋ぐことができ、本当に嬉しくそして誇りに思います。

最後に、特別会員の皆様、地域の皆様、そして現役メンバーに心からお礼を申し上げまして、理事長報告とさせていただきます。

長くもあり短くもあったこの1年間、本当にありがとうございました。

(一社) 西大寺青年会議所 第52代理事長 三枝 克守

本年度は、三枝理事長のもと副理事長として、岡崎委員長が率いる西大寺わっしょい委員会を担当させていただきました。担当させていただいた西大寺わっしょい委員会は、委員会メンバーそれぞれの責任感がとても強く、能力も非常に高い委員会でした。副理事長という立場で常に勉強させていただきました。

三枝理事長におかれましては、メリハリがあり会員の手本となるすばらしい理事長でした。一年間本当にお疲れ様でした。

一年を振り返り自分自身、反省点が多くあります。反省点を反省で終わらず事無く課題とし、次年度以降がんばりたいと思います。

西大寺青年会議所メンバーの皆様、一年間お世話になり有り難う御座いました。

副理事長 長田 智宏

2012年は今後のJC運動を考える上で、今足りないもの、変えて行かねばならないもの、改めて原点に立ち返り、しっかりと向き合いながら自分なりに精査をした1年であったように思います。振り返れば、JCはもちろん、知識や見識も無い、未熟な私がここに入会したのは2004年のこととなりますが、あれから既に8年が経過しました。当時は自分が驕っているとか、胡坐をかいているとか、うぬぼれているなど思った事が無く、常に謙虚に生きてきたつもりでした。しかし、この8年間で多くの友人と出会い、多くの事を勉強させて頂くうちに、そういった考え自体が愚かな事であり、いかに間違っているかを気づかせてくれました。社会も知らない人間が謙虚に生きられるわけもなく、人に感謝して生きられるわけもない。私は結局「井の中の蛙」だったのです。つまりそれは、驕りがあり、胡坐をかき、うぬぼれていたという証であり、謙虚に生きていると思いついていた愚かな自分がいたのです。

気が付けば入会当時のメンバーは全員ご卒業され、今では私が経歴の1番長いメンバーとなってしまいました。しかしながら、今年1年副理事長をさせて頂きましたが、未だに知らない事、分からない事、出来ない事が多く、まだまだ井戸から飛び出せない自分がいるようです。副理事長の担いを思ったように全うできないという事は、自分に足りないものがあるからであり、また、何かを変える事ができる程の力が無いからであると感じています。

JCの素晴らしさとして、人との信頼関係を強くする術や、あらゆるものを生み出していく術を身に付けられる事に魅力を感じていますが、その根底にあるのは各々自分自身に秘めている潜在能力を互いに引き出し合えるからではないでしょうか。その秘められた力を最大限に発揮できない自分がいるとするならば、自分に甘えがあるからであり、何かを恐れているからだと感じています。

今後のJC運動、そして社会、余すことなく発揮できる自分をつくるためにも、甘えを捨て、何事にも恐れず大きな海に旅立つことを決意しました。心は既に2013年。私の挑戦はもう始まっています。そして去り行く2012年、三枝理事長が華やかで、素晴らしい1年を無事全うされました事にお慶びを申し上げますと共に、誇り高きメンバーに感謝を申し上げます。合掌

副理事長 坪井 綾広

本年度、國本委員長率いる会員創造委員会の担当副理事長を務めさせていただきました。主な事業としては、会員拡大会議と復興支援事業を開催させていただきました。委員長が特に今年度熱い思いで望まれた復興支援事業については、年当初から西大寺JCとしてどうすれば現地被災者の方々の支援の一助となる事が出来るかを考えて悩まれていたと思います。結果、被災地及び被災者の2012年現在の状況を資料として持ち帰り、いまだ復興途中である被災地の方々の苦労や現状を伝え、支援の心を持ち続ける事を目的とした事業を開催させていただきました。この委員会では、LOMを代表するような大きな事業は無かったかもしれませんが、1年を通じて抱えている事業も多々あり委員会メンバーの皆様におかれましては、毎日重圧の中、過ごされた事と思い大変だったと思いますが、またそれは人生にとって貴重な経験になった事と思います。最後に頼りない副理事長でメンバーにはご迷惑をお掛けしましたが、この1年間、私自身も貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

副理事長 塩崎 鉄司

2012年度三枝理事長のもと、専務理事を務めさせていただきました。職務としては、理事長のスケジュール管理や各地で開催される会議への付き添い、そして岡山ブック協議会をはじめ、各地会員会議所との窓口として精一杯努めさせていただきました。ポジション的に、岡山ブロックの事、LOMの事が一番良く分かるポジションで大変勉強になりました。

また、各地会員会議所専務理事の皆様方との交流を通じて新たなメンバーとの友情を育む事が出来、専務理事としての在り方も改めて勉強させていただきました。この経験は自分にとっても大きな宝となり、専務理事をして良かったと感じております。

そして、公益法人制度改革を受け、昨年より引き継いだ一般社団法人への移行を完了する為、総務委員会主導のもと皆様にご協力頂きながら、本年度7月に移行を完了する事が出来ました。総務委員会としては多忙な一年だったと思いますが、総務の仕事あまり理解していない専務理事で委員長には苦勞をかけたと思います。

最後になりますが、ご指導ご鞭撻頂きました関係各位をはじめメンバーの皆様方にはお世話になりました。また、専務理事にご指名頂きました三枝理事長には大変感謝致しております。一年間ありがとうございました。

専務理事 赤木朋央

本年度、三枝理事長のもと総務委員長を務めさせていただきました。総務委員会という委員会の職務上、表に出て事業を行うという事は少なかったですが、LOMの裏方として西大寺青年会議所の運営を支えられたのではないかと思います。

また、本年度は一般社団法人への移行を完了する特別な年でもありました。そんな大事な年の総務委員長を私で務まるのかと不安を抱きながら一年が始まりました。前年度委員長の努力を实らせるた

め移行手続きに全力で取り組みました。時には私の力不足で心が折れそうになりながらも副委員長・前年度委員長に助けられ、支えられて7月2日、無事一般社団法人西大寺青年会議所への移行が完了しました。今後は、後の総務委員長にしっかりと引き継ぎをしていくことが移行に携わったものの務めだと考えます。

本年度は私にとって修練の年となり成長させてもらった一年であったと思います。この一年で経験したことはこれからのJC生活にとって大きな糧となりました。次年度以降も西大寺JCを盛り上げるため日々精進していきたいと思っています。

総務委員会 委員長 藤本 成浩

本年度、第41回少年はだか祭り等を担当させていただきました。JC3年目での新理事とあったにもかかわらず、西大寺青年会議所においての一大イベントを任せられ、経験や知識について大変な不安を感じておりましたが、特別会員の皆様方や現役会員の委員長経験者の方々に助けて頂き、伝統を守ることができました。ありがとうございました。今度はその恩返しとして、次年度以降の委員長を手助けしていきたいと思っています。

また、今年はわっしーカーニバルと金牛神輿巡行が道路事情のために、6月に同日開催されることになりました。二つの事業団体が共同して行われるため、準備の段階では調整の難しいこともありました。わっしーカーニバルのメイン通りで金牛神輿を担いで巡行し、それに続き町内の子どもみこしが続くことで、来場者の歓声もいつも以上のものだったと感じております。

11月には「安全マップの作成」という小学生を対象に防犯教育を行う事業を実施いたしました。この事業は新事業であるためJCには資料も知識もないため西大寺の団体にお願ひし、まず自分が勉強することからスタートしなければならぬ小規模での開催となってしまいましたが、太伯地区4町内の子ども達は「勉強になった」「楽しかった」等、喜んでもらえるものばかりで、開催した甲斐があったと思います。

卒業式では、在籍16年半の井上裕嗣君と監事を務められた長谷川豪範君をお送りしました。これで私の本年度最後の担当事業となるため終わった後には、逆にありがとうございましたとご苦労様の声を頂き感謝感激です。

この一年間、力不足でまわりの皆様に大変ご迷惑をおかけしたことと思います。そのたびにご指導ご協力していただいたこと感謝しております。ありがとうございました。

西大寺わっしー委員会 委員長 岡崎 将明

本年度地域連携委員会の委員長を務めさせていただきました中西です。本年度初理事ということでわからないことばかりで不安もいっぱいでしたが、坪井副理事長をはじめ委員会メンバーに多々ご相談させていただき、支えられながら1年を乗り切ることが出来ましたことに感謝申し上げます。

地域連携委員会としましては、夏に行われました牛窓シーサイドキャンプ in 前島を中心に多数の

事業を行う事が出来ました。牛窓シーサイドキャンプ in 前島では、委員会メンバーを中心に LOM メンバー全員に助けをいただき、今までの人生の中でも1番といえるような達成感を感じることが出来ました。また事業の設営や役員会等を初めて経験することにより、JC 運動についてよく理解できると共に大変勉強になりました。

JCでは、毎年このようないろいろな経験をすることができますが、この1年間は今後のJC生活においても1番大きな経験をすることができた1年になったと思います。この経験を今後10年あるJC生活に生かすことができるよう頑張っていきたいと思います。本年、ご指導、ご協力を頂きました理事長をはじめとするメンバーの皆様に深く感謝申し上げます。有難うございました。

地域連携委員会委員長 中西 秀和

本年度、会員創造委員会委員長を務めさせていただきました。

理事2年目ということで、昨年感じたことや経験を有意義に生かした1年にしようとスタートした1月が昨日のように思える早い1年でした。

会員創造委員会としまして、頭を悩ませた事業は被災地復興支援事業でした。自分たちに何が出来るか、委員会内で色々と考え、LOM メンバーからも多くの助言をいただき行いました。

自分なりに達成感がありますが、この事業は継続していかなければ意味が無いと思っています。

この1年で得た沢山の経験を活かして今後のJC 運動に精進していきたいと思っています。

最後に今年1年間支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

会員創造委員会委員長 國本 秀範

本年度、三枝理事長のもと監事を務めさせて頂きました。この一年間はJC 活動最後の年となり、今まで以上になるべくイベントや会議の参加を心がけて参りました。結果すべてに参加出来る事は出来ませんでした。京都会議や全国大会などの県外遠征や、様々な事業を通して、本当に勉強になった一年でした。

そして、今年は監事としての大役を任せられ、いざ講評をしてみるとJC を熟知していない自分にとっては難しく、また人前で物事をうまく伝える事の難しさを改めて痛感しました。メンバーの皆には頼りない監事だったかもしれませんが、自分自身の成長の糧となる事が出来ました。

三年半という短い間でしたが、いざ振り返ってみるとあっという間に時が過ぎた気がします。5年前に岡山に戻り、家業を手伝いながらでしたが、離れている期間があまりに長すぎたのか岡山の事が分からなくなっていました。JC 活動を通じて様々な人と出会えた事でやっと岡山県人に戻れた気がします。

最後になりますが、今年1年支えて頂いたメンバーを始め、特別会員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

監事 長谷川 豪範

## 第61回北九州全国大会



2012年10月13日北九州市にあります北九州メディアドームで開催された第61回北九州全国大会へ参加致しました。全国大会は、全国の青年会議所が一同に会し、一年に一度、盛大に開催されます。

今回は大会式典の中で行われる卒業式に、今年度ご卒業される2名のメンバーの方々が参加され、全国の青年会議所の卒業生と合同で卒業式をされました。JC運動に積極的に取り組み、地域の為に頑張っておられた方々は輝かしく、勇ましくも見えました。ご卒業されるという事で寂しさもありますが、今まで様々な事をご指導頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。今回の全国大会でご卒業される卒業生と一緒に過ごせた事は本当に良い思い出となりました。

これからのJC運動に際し、卒業生から教えて頂いた事を糧に、地域の皆様方のお役に立てる様、JC運動に取り組んでいこうと思います。

総務委員会 副委員長 寺田和宏

## 地域安全マップの作成



11月18日(日)西大寺わっしょい委員会の新事業『地域安全マップの作製』を開催いたしました。この事業は、子供たちへの犯罪が近年多発している事から、危険に対して子供たち自身に気付く力を身に付けてもらう事を目的としています。

当日は、朝早くから太伯地域の子供たち・ご家族の皆様にご参加頂き『地域安全マップとは』という内容からスタートしました。子供たちに対する犯罪の現状、どのような場所が危険なのか、大人と子供たちの見え方の違いなど、問題を交えながら勉強しました。

次に、『フィールドワーク』として2チームに分かれ、太伯地区の決まったエリアをメンバー含めて全員で歩き、危険な箇所・安全な箇所を探しながら、地域の方にインタビューもしました。

最後に、昼食を挟んで午後からはこの事業のメインである『地域安全マップの作製』を行いました。大きな地図に危険な箇所、安全な箇所など、コメント付きで記入していきました。全員でワイワイ楽しみながら、悩みながら作っていく事は、1つの事をチームでやり遂げる事の大切さを、子供たちに感じてもらったのではないのでしょうか。

新事業でしたが、地域の子供たち・ご家族の皆様のご協力により、とても素晴らしい地域安全マップが作製出来ました。大成功と言っても過言ではないと思います。

西大寺青年会議所は、これからも定期的にこの『地域安全マップの作製』を行い、地域の子供たちが安心して暮らせる町づくりを目指していきます。

ご参加頂いた地域の子供たち・ご家族の皆様大変ありがとうございました。

西大寺わっしょい委員会 委員 同前 壮一



2012年12月12日に平成24年度西大寺JC卒業式を行いました。

青年会議所という組織で活動している以上、避けては通れぬ事業ではありますが、共にさまざまな事業に取り組み友情を育んできた仲間が旅立つこの時期には何とも言えない寂しさがこみあげます。しかしその気持ちは卒業される方々のほうが強いはずなので、送り出す現役メンバーとしては盛大に



ぎやかにお祝いの気持ちを込めた設営を心がけました。

式典は現役メンバーをはじめ、卒業生のスポンサーである先輩方、そして前田敦子さん(元A k b)のお力を借りて終始和やかで笑顔に満ちた式になったと思います。

卒業されるお二人には心おきなく新たなステージに挑戦していただきたい気持ちとともに残るメンバーとの友情を変わず持ちつづけていただけたらと思います。

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございました。

西大寺わっしょい委員会 宗石幸治

## 盲ろう者友の会バザー



9月29日盲ろう者友の会バザーin岡山ドームに行ってきました。このバザーに参加するのは僕自身では2度目となり、盲ろう者友の会の方々からも名前を覚えていたり大変うれしく感じました。このバザーには一般の方や実際にお店を開いてる方など多数のお店が出店しています。その中で

も盲ろう者友の会のブースには、バザーが始まるとすぐに、多数の人が集まり品物がどんどん売れていきました。売っているものは、日曜雑貨から、服などいろいろなものが並び、終わりの時間が近づき半額にするとますます人が殺到し、ほとんどの品物がなくなりました。JCメンバーが持参した品物も完売していたように見えました。

早朝からの参加となり、参加してくださいました関係者の方々、大変お疲れ様でした。次年度もまた引き続き、お手伝いさせていただくと共に、盲ろう者友の会の方々との懇親もより深めていければと思います。

地域連携委員会 委員長 中西 秀和

## OB懇親会



2012年11月13日に西大寺グランドホテルで(一社)西大寺青年会議所2012年度OB懇親会を開催しました。特別会員の方と、懇親を深める数少ない機会の一つとして、大変貴重な時間になっていると

思います。

特別会員の方々と懇親を深めると共に、JC運動に対してご教授していただくことができました。また本年度はアトラクションとしまして、3分間スピーチを行い、JC運動に対する思い、経験等をスピーチしていただきました。3分間スピーチにあたった方のJC運動に対する熱い思いを感じ、JC運動を今まで以上にがんばっていこうという思いが強くなりました。

当委員会でOB懇親会を担当させていただき、設営を手伝っていただきました現役会員の方々、ご出席していただきました特別会員の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

地域連携委員会 委員長 中西 秀和

## ごふくまつり



2012年12月1日、晴天の基、ごふくまつり2012が西大寺小学校にて開催されました。

当日は西大寺小学校区の子供達を初め、その保護者の方々、関係諸団体の方々といった大変多くの方が参加されました。おまつりで恒例となっている餅つきを初め、校舎内外において数多くのイベ

ントが盛大に執り行われました。小学校という1つの環境の中で、性別、世代といった普段我々が生活していく上で少なからず体感している些細な隙間などそこには存在せず、同じ目的意識を持った人達の笑顔の繋がりを垣間見ることができました。

大人には大人の世界観があり、子供には子供の世界観があります。共に時間の過程と並行してそれまでに伝わり続けた価値観を変革させていく傾向が伺える現代、今回おまつりに参加して感じられたこととして、それぞれが持ち合わせている世界観、変化を続ける新たな価値観はその瞬間に消え去っていたということです。大人も子供も限りなく近い笑顔を形成し、おまつりを通して芽生えた世界観、価値観で共通の空気感を生み出していたということ。今我々誰もが心の中で考える本当の意味での人と人との繋がりを体感できた瞬間でした。まさにチラシに書かれていた「こどもから大人までみんなが笑顔でしあわせになれるそんなお祭りをお届けします」というメッセージ通りの催しものであったと思います。参加された皆様方、当日は朝早くから大変お疲れ様でした。

地域連携委員会 委員 仁科 健

## 被災地復興支援

# 観見奉仕

2012年3月11日に発生した、東日本大震災では多くの犠牲者と被災者が出ました。改めてお悔みを申し上げます。そこで私たち西大寺青年会議所でも何か役にたてないかと考えました。

そこで多くの意見をメンバーに聞かせて頂き、24年度現在の復興状況を記録に残し伝えるという形にしました。会員創造委員会全員で福島にある、グループホームに訪れ被災者の生きた声を聞かせて頂き記録をとりました。

11月29日被災地復興支援事業としてメンバーにみてもらい、被災者の心境、被災地の状況を伝えることが出来たと思います。現地の方の生きた声はとても重く衝撃を受けました。そこで次年度以降も支援事業を続けて行き、小さいことでも何か支援させて頂けたらと思いました。

会員創造委員会 委員長 國本 秀範

発行日 平成24年12月吉日

発行責任者 三枝 克守

編集責任者 國本 秀範